

旅行関連業における
新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく
国内修学旅行の手引き（第5版）

一般社団法人 日本旅行業協会

【協力】

公益財団法人 日本修学旅行協会

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

2021年11月22日

1. はじめに

修学旅行は単なる観光旅行ではなく、文部科学省の学習指導要領に於いて特別活動のひとつとして位置づけられ、諸外国にも類例のない教育活動です。

その教育的意義は大きく、学校生活に於ける諸活動の中でも参加する児童・生徒の皆様にとって最も強い印象として残り得る極めて価値のある教育的体験活動です。

修学旅行実施において「新型コロナウイルス感染症」の感染防止を極力図り、充実した修学旅行を実現していくため、旅行業に従事する旅行会社の総意を結集し、「国内修学旅行の手引き」を策定致しました。

私どもは、各種ガイドラインに基づいた「国内修学旅行の手引き」に準拠した感染防止策の実施に努め、学校、児童・生徒様、教職員の皆様、そして保護者の皆様に安心・安全な修学旅行の場を提供すべく、最大限の努力と支援を行います。

2. 「国内修学旅行の手引き」について

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月4日）において、「各業種のガイドライン等の作成に当たって求められる基本的な考え方や留意点の例」等が示されました。観光庁や感染症専門医等の指導によって作成された旅行業ガイドライン、その他の関連機関・業界のガイドラインを参考に、一般社団法人日本旅行業協会が公益財団法人日本修学旅行協会及び公益財団法人全国修学旅行研究協会の協力のもと、「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」を作成致しました。なお、新型コロナウイルスの最新の知見、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針、同分科会等の提言、お客様のご要望、各関連施設の受入体制等を踏まえて、この手引きは随時見直しをさせていただきます。

3. 具体的な対策にあたっての考え方（3項目）

- (1) 主な感染経路である飛沫感染と接触感染のそれぞれのリスクに応じた対策を検討致しました。
- (2) 飛沫感染は、換気の状態を考慮しつつ、人と人の距離をどの程度確保できるか等を評価致しました。
※マイクロ飛沫(エアゾル)感染リスクについては、旅行中の施設利用・各場面における換気や大声を出す場面がどこにあるかなどを評価
- (3) 接触感染は、他者と共有する物品や手を触れる場所の頻度を特定し、対策を講じます。

4. 具体的な感染防止対策

- ・デルタ株等の変異株の拡大を踏まえ、正しいマスク着用(品質の確かな、できれば不織布を着用)と咳エチケットを周知・掲示徹底します。マスクの着用法について、例えば厚生労働省HP「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。
- ・団体行動中は、可能な限り人と人の距離を取り、特に、飲食時や入浴時、就寝時、屋外でのマスクを外す必要がある体験活動(アクティビティ等)の場面においては、お互いの会話を控えて頂く等の留意をして頂きます。
- ・消毒設備の設置・整備等を事前に各所に依頼し、手洗いや手指消毒の頻度を定期的・計画的に増やします。
- ・消毒については、アルコール消毒液（濃度70%以上90%以下のエタノール）等の使用します。
- ・食事、入浴、就寝の時間以外は、常にマスクの着用を励行して頂きます。

(身体活動の内容や気候状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、換気や人と人との距離を確保した上で、マスクを外して頂く場合があります。)

- ・業界ガイドラインに従った輸送機関、見学・食事・宿泊施設等に事前及び定期的な消毒と、機能を最大限とした換気を依頼致します。また、利用する旅行サービス提供事業者は、原則として適切な感染防止策をとっている事業者に限定致します。

5. 営業担当者、添乗員向けの対策

- ・事前の打ち合わせ、営業活動においては、可能な限り通信手段を利用した非対面の形式等を採用し、商談時や移動時の感染リスクを軽減させるように努力致します。
- ・事前、並びに業務中の検温等、体調管理を徹底し、体調不良者や濃厚接触の恐れがある添乗員による添乗勤務は行いません。
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航経験並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、その添乗員は添乗業務を行いません。
- ・万一添乗中の添乗員が体調不良となった場合は、速やかに団体から離脱させ、代替要員を手配致します。
- ・少しでも体調が悪い添乗員が見出された場合等は、厚生労働省事務連絡（「職場における積極的な検査等の実施手順（第2版）について」や「職場における積極的な検査の促進について」）を参考に参照しつつ、抗原検査キットの活用も検討します。
- ・営業活動における行動管理のためにCOCOAやその他QRコード読取システム等を含む地域通知サービスの利用が推奨される。

6. お客様（児童・生徒様、教職員の皆様、その他の同行関係者）向けの対策

- ・児童・生徒様に旅行中の感染防止対策（感染予防の行動、手洗い・手指消毒や咳エチケット、乗り物乗車中や食事中、大浴場利用中の会話を控える、大声を控える等）の事前指導を実施頂き、対策の実行と理解・協力をお願い致します。※大音量のBGMは大声での会話を誘発する可能性があるため、BGMの音量を上げすぎないように留意してください。
 - ・児童・生徒様、並びに同居のご家族も含め、の出発前の健康観察を徹底して頂くようお願い致します。また児童・生徒様が発熱・体調不良の場合、参加は取り止めて頂けるようお願い致します。
 - ・新型コロナウイルスの濃厚接触者と保健所に認定され、指示があった場合は、旅行の参加をお断りさせていただきます。
 - ・新型コロナウイルスの濃厚接触の疑いがある場合には、保健所や医療機関の指示に従って、学校と協議の上で参加の可否を判断させていただきます。
 - ・出発前に児童・生徒様の体調確認（体温、体調チェック）を行っていただき、発熱や感染の疑いのある症状がある場合には、保健所や医師の判断に従い、旅行参加を取り止めていただくようお願い致します。
 - ・旅行中も朝・夕の定期的な検温を実施し、体調不良者の発生等の場合には保健所や医師の判断を仰いで頂くようお願い致します。
 - ・旅行中は、手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ちとして、共用はしないようにご指導頂くことを推奨します。
- ※トイレの際の手洗いを徹底いただきます。
- ※タオルやハンカチは、出来るだけ新しい物を常に利用できるように複数枚ご準備頂き、施設等に備え付けのペーパータオルがある場合は優先的にご利用頂きます。
- ・児童・生徒様につきましては、従来から事前調査をお願いしている食事アレルギー、既往歴、基礎疾患に関する情報を入手し、基礎疾患がある場合には主治医の旅行参加の許可を確認するようお願い致します。

7.旅行行程、運營業務上の対策

- ・旅程上のサービス提供事業者に対して、従業員の体調管理、設備の事前・定期的な消毒の実施、業界ガイドラインに従った消毒設備の設置、空調設備の換気機能や安全を最優先にしたうえでの窓やドア等の開放等を最大限活用した換気の徹底を依頼致します。又、体調不良や濃厚接触の疑いのある従業員によるサービス提供はお断り致します。

- ・サービス提供事業者に対して、従業員の感染防止対策を確実に実行するよう、指導と管理の徹底を依頼致します。

- ・旅行開始前・開始後の感染状況の変化等により、旅行の安全かつ円滑な実施が困難、又は困難となる可能性が大きい場合は、学校と協議の上、旅行を中止し、出発地に引き返す等の措置を取らせて頂きます。

- ・手洗い・手指消毒等の環境整備と定期的な実施、並びに健康チェック等に必要の行程上の時間的な余裕を確保し、引率の先生方の協力のもとスケジュール調整等を行います。

※第4版まで記載していた「うがい」は、多くの人数が集まって、うがいをする際の飛沫やエアロゾルの飛散に伴い、感染リスクが高まるため、削除致しました。

- ・感染症対策専門家会議で策定された、①換気の悪い密閉空間、②多くの人が密集、③近距離での会話や発声、という条件が発生しないように注意することが感染予防には重要とされています。旅行行程中におきましては、これらの状況が発生しないように、換気や会話の抑制、人と人との距離の確保等、最大限の注意と配慮を行い、旅行をするよう留意します。

8.集合場所について

- ・可能な限り、空間的に開放された広い場所を確保し、集合の方法、クラスや列の間隔・前後の隊形、並びに移動方法や経路について、余裕を持たせた体制・方法を確保して頂きます。又、クラス単位等の点呼、短時間での注意指導等も併せてご検討・実施して頂きます。※解散の場面も同様にて

9.輸送機関利用上の対策

- ・各交通機関の換気性能・完全換気に必要な時間を学校、保護者、児童・生徒様へ事前に案内し、各交通機関利用の際の感染リスク・感染対策をご理解頂きます。※但し、飛沫やエアロゾルによる感染を防止するため、会話の抑制等も行うことで、より感染対策を徹底致します。

- ・新幹線や航空機においては、マスク着用し、車内や機内での移動はできるだけ控え、座席を回転して対面での利用も控えるように要請します。

- ・指定席座席でない電車等を利用する場合は、混雑時間帯を避ける、比較的空いている車両又は列車を利用する、マスク着用及び会話を控えめにすることの協力を要請します。混雑していない場合でも、周囲に配慮し、可能な限り児童・生徒同士が間隔確保や密接して会話などを避けるための協力を要請します。

- ・貸切バスについては、車内の換気機能を最大限に作動させ、安全を最優先にしたうえでの窓の開放も併用し、マスク着用と会話の抑制を遵守する事による感染リスクの低減を図りさらに安心いただける対応として座席の間隔を空ける、および出来る限り乗車人数を減らす等の配慮を必要に応じていたします。

- ・脱水症・熱中症対策としての水分摂取以外のバス内での飲食は禁止といたします。

※やむを得ない場合には、弁当等で食事を取る際は会話をしない黙食を条件とし、可とする。

- ・乗車時には、出来るだけ必要最低限度以外の会話を抑制する等、児童・生徒様には感染症予防のための行動にご協力頂きます。

- ・乗務員・従業員の定期的な検温等、健康管理を徹底し、海外からの帰国後、政府の指示で隔離中あるいは健康監視中となった場合、並びに濃厚接触者に認定された場合や体調不良者の業務を停止させ、輸送事業者に対して適切な労務管理を徹底して頂くよう要請致します。
- ・乗務員・従業員の勤務中のマスク着用、手洗いや咳エチケットの励行等、感染防止に対する啓発・指導等の徹底を依頼し、添乗員同行の場合は注意を促すことを徹底致します。
- ・乗務員・従業員に体調不良者が発生した場合は、速やかに代替乗務員・従業員の確保を行うように輸送事業者に依頼致します。
- ・衛生管理責任者と保健所との連携を強化し、労働衛生管理等の関連法令上の義務の順守を要請致します。

【参考】各輸送機関における完全換気に必要な時間（具体的な実証実験による）

- ・貸切バス:バス車内空気の換気による完全入れ替えに必要な時間 5～6 分 常時作動
(バス製造会社ホームページより)
- ・新幹線:車両内空気の換気による完全入れ替えに必要な時間 6～8 分 常時作動
(JR 各社ホームページより)
- ・航空機:機内空気の換気による完全入れ替えに必要な時間 2～3 分 常時作動
(航空会社各社ホームページより)

10. 宿泊施設利用上の対策

・業界の感染症対策に関するガイドラインに従った対策が実行できていることを事前に確認し、確実な実施・対応を要請致します。

(空調装置・窓やドア開放による換気、施設・客室・お客様が触れる機会の多い部分等の定期的な消毒、手洗い・消毒設備の設置、利用者への注意喚起、従業員の指導・管理徹底等)

※感染症対策の認証制度のある都道府県においては、認証取得の確認も行うことを推奨します。

・従業員の定期的な検温等、健康管理を徹底し、濃厚接触者や体調不良者の業務を停止させ、感染リスクの低減を徹底して頂くよう要請致します。

・従業員の勤務中のマスク着用、手洗いや手指消毒、咳エチケットの励行等、感染防止に対する啓発・指導等の徹底を依頼し添乗員同行の場合は注意を促すことを徹底致します。

・従業員に体調不良者が発生した場合は、速やかに業務から外し、保健所や医師の診断を仰いで感染の有無、濃厚接触者の認定、施設の消毒方法等の指示に従い、代わりの従業員を業務に就かせるよう要請致します。

・食事は可能な限りバイキングや複数での鍋料理等を避け、一人ずつのセットメニューでの提供を基本として頂きます。また、コップやお箸等は適切な消毒や洗浄、又は使い捨て等の対応を依頼致します。

※食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。

・食事をとる場面でも、飛沫をできるだけ浴びないような席の配置や、テーブルでの相対着席や距離の確保が避けられない場合は、パーティションを設置し、会話を控えるなどの対応を要請致します。食事後の歓談時にも必ずマスクを着用頂くことを要請致します。

・施設及び学校には、児童・生徒様をはじめとする全参加者への食事前後の手洗い及び手指消毒の徹底を要請致します。

・館内の設備・売店等を利用するに当たり、事前に可能な範囲で「密集」を避け、感染リスクを低減する工夫を徹底して頂きます。（会場スペースや設備の状況により時間差をつけた交代制での食事提供、定員を削減した入浴施設の利用等のスケジュール調整・検討等を含む）

・感染が疑われるお客様が発生した場合は、速やかに宿泊施設からお客様へ情報共有して頂き、感染が疑われるお客様と対面接触した従業員をまず隔離し、速やかな消毒実施と保健所の指導に従った感染の有無の判断や濃厚接触者の従業員への対応等を実施頂きます。

・衛生管理責任者と保健所との連携を強化し、労働衛生管理等の関連法令上の義務の順守を要請致します。

1 1 .食事施設利用上の対策

・各業界の感染症対策に関するガイドラインに従った対策が実行できていることを事前に確認し、確実な実施・対応を要請致します。

（空調装置・窓やドア開放による換気、施設等の定期的な消毒、手洗い・消毒設備の設置、利用者への注意喚起、従業員の指導・管理徹底等）

※感染症対策の認証制度のある都道府県においては、認証取得の確認も行います。

・食事は可能な限りバイキングや複数での鍋料理等を避け、一人ずつのセットメニューでの提供を基本として頂きます。また、コップやお箸等は適切な消毒や洗浄、又は使い捨て等の対応を依頼致します。

※食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。

・食事をとる場面でも、飛沫を飛ばさないような席の配置や、テーブルでの相対着席や距離の確保が避けられない場合は、パーティションを設置し、会話を控えるなどの工夫を要請致します。食事後の歓談時にも必ずマスクを着用頂くことを要請致します。

・施設及び学校には、児童生徒様をはじめとする全参加者への食事前後の手洗い及び手指消毒の徹底を要請致します。

・館内の設備・売店・トイレ等を利用するに当たり、事前に可能な範囲で「密集」を避ける工夫を徹底して頂きます。

・従業員の定期的な検温等、健康管理を徹底し、濃厚接触者や体調不良者の業務を停止させ、適切な労務管理を徹底して頂くように依頼致します。

・従業員の勤務中のマスク着用、手洗いや咳エチケットの励行等、感染防止に対する啓発・指導等の徹底を依頼致します。

・従業員に体調不良者が発生した場合は、速やかに業務から外し、保健所や医師の診断を仰いで感染の有無、濃厚接触者の認定、施設の消毒方法等の指示に従い、代わりの従業員を業務に就かせるよう要請致します。

・感染が疑われるお客様・従業員が発生した場合は、食事施設から利用予定学校へ速やかに報告して頂きます。併せて該当のお客様と対面接触した従業員をまず隔離し、速やかな消毒実施と保健所の指導に従った対応等を実施頂きます。

・衛生管理責任者と保健所との連携を強化し、労働衛生管理等の関連法令上の義務の順守を要請致します。

1 2 .入場観覧施設利用上の対策（飲食施設・宿泊施設の項目も参照）

・各業界の感染症対策に関するガイドラインに従った利用が出来るように事前に依頼し、実施を励行して頂きます。

(空調装置・窓開けによる換気、施設のうちお客様が触れる機会の多い部分等の定期的な消毒、手洗い・消毒設備の設置、利用者への注意喚起、従業員の指導・管理徹底等)

・従業員の定期的な検温等、健康管理を徹底し、濃厚接触者や体調不良者の業務を停止させ、適切な労務管理を徹底して頂くように依頼致します。

・従業員の勤務中のマスク着用、手洗いや咳エチケットの励行等、感染防止に対する啓発・指導等の徹底を依頼致し、補助致します。

・施設内の見学経路や利用等において、可能な範囲で「密集」を避ける工夫を講じて頂くように依頼致します。

1.3.体験学習プログラム等運営上の対策（飲食施設・宿泊施設の項目も参照）

・各業界の感染症対策に関するガイドラインに従った利用が出来るように事前に依頼し、実施を励行して頂きます。（空調装置・窓開けによる換気、施設のうちお客様が触れる機会の多い部分等の定期的な消毒、手洗い・消毒設備の設置、利用者への注意喚起、従業員の指導・管理徹底等）

1.4.その他

・学校作成の保護者からの参加同意書

「国内修学旅行の手引き」に沿った修学旅行への参加についてご了解頂くために、旅行中の各受入機関の感染対策や取組を具体的に提示した上で、学校側に対して同意書の作成と保護者からの同意書の提出を求めてください。

＊添付の例文を参考としてください。

・旅行時持参物の内容の配慮について

・マスク（1日1枚以上、品質の確かな、できれば不織布マスク）

・体温計・ハンカチ（1日複数枚：手洗い後に個人で使用）・タオル・ティッシュ

※ハンカチやタオルは出来るだけ新しい物を常に利用できるように、複数枚ご準備頂きます。

・マスクを置く際の清潔なビニール袋、利用済みのマスクやハンカチ、ティッシュを捨てるためのビニール袋を通常の持参物に加えて持参するよう推奨します。利用済みのマスクやハンカチ、ティッシュ等を入れたビニール袋は密閉し、自宅まで持ち帰ったうえで洗濯、または捨てる等の処理をして頂きます。

・班別、グループ行動中の注意事項

班別・グループ行動中においても、できる限り「密閉・密集・密接な状況を避ける行動」に留意して頂き、各所の設備を利用した手洗い・手指消毒等を定期的に実施して頂くことを事前にご指導頂き、励行して頂きます。また、屋外においてもマスクを着用し、高温等で体調不良が予測される場合は、マスクを外すと同時に会話を抑制することを徹底して頂きます。

並びに、行動経路・範囲を厳格に計画し、当日の変更内容等も記録して頂きます。【感染範囲の特定の為】

班別・グループ行動中の食事については、感染症対策を実施している食事場所を事前に予約確保する事を推奨します。事前予約が出来ない場合は、感染症対策を実施している店舗にて可能な限り4名以下（小学生は除く）の単位に分かれて食事をとるよう学校に依頼します。

※食事をとる場面でも、飛沫をできるだけ浴びないような席の配置や、テーブルでの相対着席や距離の確保が避けられない場合は、パーティションを設置し、会話を控えるなどの対応を要請致します。食事後の歓談時にも必ずマスクを着用頂くことを要請致します。

※施設及び学校には、食事前後の手洗い及び手指消毒の徹底を要請致します。

・旅行実施中の発症者発生時の対応について

速やかに発症者の隔離・看護を行い、濃厚接触者の特定と隔離・健康観察を行います。管轄保健所と医師の判断に従い、発症者と濃厚接触者への対応を行います。また、それらの関係者の意見を参考に、学校側と事後の行程に関する検討を行います。※学校を通して保護者にも同時進行にて状況連絡を行います。

・民泊体験活動のガイドライン・ルール等

各民泊組織が作成するガイドライン又はルールに従って、感染症予防の観点に即した、安全で適切な体験・交流プログラム、農山漁村生活体験等を実施して頂きます。

・旅行終了後の健康観察

参加者ご本人や同居のご家族等も含めた健康状態の経過観察を、実施後の一定期間（目安として2週間程度）行うようお願い致します。

1.5. 修学旅行以外の学校行事について

・修学旅行以外の宿泊を伴う学校行事（宿泊研修、ホームルーム合宿、林間学校、臨海学校等）、並びに遠足（校外学習）や職場体験学習、芸術鑑賞教室等、宿泊を伴わない校外での学校行事におかれましても本手引きの内容と方針に従った旅行手配・運営のお手伝いをさせていただきます。全ての学校にとりまして、安心・安全でより学習効果の高い学校行事が実現できるよう、最大限の努力と支援を行います。

【参考】

・「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和3年1月13日変更）

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryoku/kihon_r_030113.pdf

・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2020.12.3 ver.5）」

https://www.mext.go.jp/content/20201203-mxt_kouhou01-000004520_01.pdf

・「小学校、中学校及び高等学校等における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について」（令和3年1月5日付け初等中等教育局長・スポーツ庁次長・文化庁次長連名通知）

https://www.mext.go.jp/content/20210105-mxt_kouhou01-000004520_01.pdf

・「新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を踏まえた小学校、中学校及び高等学校等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する留意事項について」（令和3年1月8日付け初等中等教育局長・スポーツ庁次長・文化庁次長連名通知）

https://www.mext.go.jp/content/20210108-mxt_kouhou01-000004520_01.pdf

【出典】

・新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン・令和2年3月24日（文部科学省）

・新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校、及び特別支援学校等における教育活動の再開に関するQ&A・令和2年5月21日（文部科学省）

・文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」

・旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（日本旅行業協会、全国旅行業協会）

・鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン（鉄道連絡会）

・バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（日本バス協会）

- ・貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン（日本バス協会）
http://www.bus.or.jp/news/covid-19guideline_kashikiri.pdf
- ・航空分野における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（定期航空協会、日本空港ビル事業者協会）
- ・旅客船事業における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン（日本旅客船協会）
- ・ハイヤー・タクシーにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（全国ハイヤー・タクシー連合会）
- ・ホテル業における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（日本ホテル協会）
- ・宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン
（全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、日本旅館協会、全日本シティホテル連盟）
- ・外食産業のための新型コロナウイルス感染症対策（日本フードサービス協会）
- ・全日本空輸株式会社 ホームページ <https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/notice200502>
- ・日本航空株式会社 ホームページ
<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/inter/200124/index.html>
- ・東日本旅客鉄道株式会社 ホームページ <https://www.jreast.co.jp/ass/pdf/20200407.pdf>
- ・東海旅客鉄道株式会社 ホームページ
https://jr-central.co.jp/notice/detail/_pdf/000040501.pdf
- ・三菱ふそうホームページ
https://www.mitsubishi-fuso.com/oa/jp/information/COVID-19_measure_sightseeing_bus/index.html

第1版	2020年	6月	3日
一部修正	2020年	6月	4日
第2版	2020年	6月	23日
第3版	2020年	9月	1日
第4版	2021年	1月	29日
第5版	2021年	11月	22日